

ティーチング・ポートフォリオ

東京都市大学

共通教育部（外国語）

植野貴志子

1. 責務

私は共通教育部外国語共通教育センターに所属し、学部生および大学院生を対象とした英語教育を行っている。担当している科目は、学部生向けの英語必修科目（Reading and Writing, Communication Skills）と外国語選択科目（Test Taking Skills, Academic Presentation）、大学院生向けの Academic Presentations, Academic Paper Writing などである。また、外国語共通教育センター主任として、外国語教育体制の運用、改善のとりまとめを行っている。

2. 理念

教育における理念は、下記3点である。

(1) 人生を切り拓いていく前向きな力をもった学生を育成する。

外国語学習においては、外国語の知識やスキルを向上させるだけではなく、自分の興味や関心を見出し発展させること、集中力や継続力を養うこと、さらに、集中的、継続的な努力によって得られた能力をもとに新しい世界に踏み出す勇気を培うことが重要である。外国語教育を通じて、粘り強くものごとに取り組み、自分の適性を伸ばして人生を切り拓いていく前向きな力をもった学生を育成したい。

(2) 多様なものの見方を受容する姿勢をもった学生を育成する。

各々の言語の背後には、それぞれに異なるものの見方や論理がある。したがって、外国語を学習するということは、母語とは異なるものの見方や論理を知ることであると同時に、母語である日本語を捉えなおし、日本語に潜むものの見方や論理に気づくことでもある。外国語教育を通じて、世界の多様なものの見方を理解し受容する姿勢をもち、日本語・日本を相対化、客観化して、世界における自身の役割を考えることができる学生を育成したい。

(3) より良い外国語教育体制を構築する。

変容する世界の情勢に応じた外国語教育を実現するために、大学内外の意見や要請を踏まえ、外国語共通教育センターの教員と協力して外国語教育の体制を改善していきたい。

3. 方法

上の理念を実現するために、以下の方法を実践している。

方法 A：集中力、継続力を高めることを目的として、授業毎に課題を出している。課題の提出をルーティン化することで、集中して地道な学習に取り組む習慣を定着させる効果を狙っている。また、学生が自分の関心や興味に気づき、それを伸ばしていけるよう、授業で扱ったテーマを自由に発展させて、自分の考えを英語で書いたり話したりする機会を設けている。これらの取り組みにおける努力が達成感に変わり、次のステップに踏み出していけるよう、学習成果が実感されることを重視したフィードバックを心がけている。

方法 B：日英対照研究の知見に基づいて、日本語および英語におけるものの見方や思考のパターンを説明し、日本語と英語はどう違うのか、日本語母語話者にとって英語の難しさはどこにあるのか、それを克服するためにはどうすればよいのか、という問題を考える機会を設けている。また、日本語と英語の表現方法やコミュニケーション・スタイルの相違を説明することにより、日本人としてのアイデンティティを維持しつつ、場面に応じて日本語と英語を適切に使い分ける力を養成することを心がけている。

方法 C：外国語共通教育センターの教員間で、定期的な会議のほか、こまめな打合せを行い、短期的、長期的な問題を確認しながら解決策を検討している。

4. 成果

- ・学生から「丁寧で分かりやすい授業だった」、「コースの最初と最後で英語力の伸びを実感した」等の感想を得ている。
- ・授業評価は、総じて4ポイント以上を得ている。

5. 目標

<短期>

- ・授業改善に向けて、他の教員から助言や意見をもらい、新たな方法を試行する。
- ・学生の授業満足度を向上させる。

<長期>

- ・外国語教育はどうあるべきかという課題を教員間で共有して追究し、その結果を外国語教育に還元する。

(添付資料)

- ・授業アンケート